

関連項目：指導体制プラン②、教育活動プラン⑤

## 学習の積み重ね・習慣化により成就感を高める

### 目的

本校の児童は、決められたことを行うが、主体的に考え、よいことを進んで工夫し、実践することは不十分です。そこで、学校や家庭での学習の積み重ね・習慣化を図ることで、個々の成就感を高め、自己実現に向けて主体的・実践的な言動がとれるようにしました。

### 内容

#### ● 家庭学習の手引き作成

児童が進んで家庭学習を行うための手立てとして、学習の手順や学習内容例を示した「家庭学習の手引き」や「自主学習の手引き」を作成し、これに則った取り組みを継続することにより、一人ひとりの児童がよりよい学習習慣を身につけていくことができると考えました。

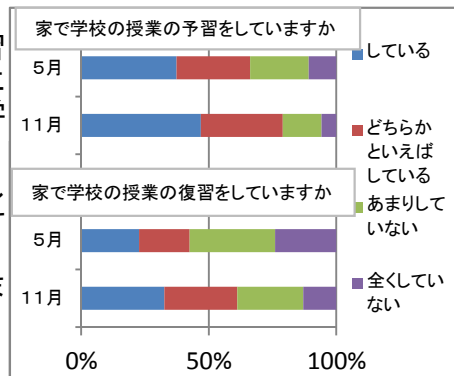
「家庭学習の手引き」には各学年に応じて、学習に取りかかる前の準備や終了後にすること、望ましい（目標とする）学習時間、教科別に予習や復習となる学習内容や発展的内容を提示しています。



#### ● 家庭学習と関連づけた教育活動

授業で学習したことを家庭学習に生かし、その家庭学習が授業の中で生かされるという学習活動を展開することにより、児童が意欲をもって学習活動に参加したり、家庭学習を継続したりできるようになりました。

一例として、家庭学習で授業の予習を行う児童が増加しています。これは、予習をすることで授業中に発言しやすく学び合う活動が楽しい、学習内容の理解が深まるなど、児童が家庭学習の価値を認識できた結果だととらえています。

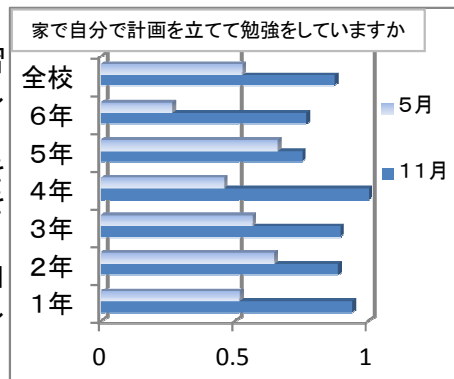


#### ● 家庭学習の紹介と学習習慣の変容調査

各学級に家庭学習の紹介コーナーを設け、よりよい学習の仕方の参考となるようにするとともに、努力や工夫をしている児童に対する賞賛の場としました。

さらに、家庭学習を始める時刻や実施時間などの計画を連絡帳に記入してから下校することで、学習習慣の定着を図ることができています。

また、全体の傾向をとらえるとともに、個々の児童が自分の変容を認識できるように定期的に状況調査を行いました。



### 成果

こうした取り組みをすることで、自分で計画を立てて勉強する、予習・復習をする、一定の時間は学習に取り組むといった望ましい児童の傾向が見られるようになりました。さらに授業中の課題への取り組みや意見発表においても、自主性が育ち、積極的な学習活動が行えるようになりました。